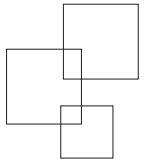


質問表題の右横にある2次元コードを読み取ると、それぞれの議員の一般質問の様子を全てご覧いただけます。



人口減少社会における 本市の将来像について



参政党 仁藤 すぐる

議員 本市の人口は令和7年3月末時点で22万2,763人となり、第2次総合計画の目標値を上回っていますが、所見を伺います。

企画部長 出生数が減少し、日本人の人口は減少傾向でしたが、それを上回る形で外国人が増加し、総人口は目標値を上回る結果となりました。地元産業を支える形で外国人人口が増加してきたものと考えています。

議員 外国人の増加は、労働力や地域の活力になるといった側面がある一方で、言語や生活習慣、文化の理解など、さまざまな課題があると考えますが、今後の対応の強化について伺います。

企画部長 外国人の増加に伴う諸課題があることは認識しています。今後も課題解決に向け、関係部局と連携しながら、多文化共生の推進に取り組んでいきたいと考えています。

議員 外国人の増加や少子高齢化による構造的な変化が本市の将来

に影響を与えていると感じますが、20年後を見据えた本市の将来像について市長の所見を伺います。

市長 第3期太田市総合戦略において、「2050年での人口20万人維持」を目標に掲げています。子育てにやさしいまちのイメージ向上のため、多様な施策に取り組むことにより、市民が生きがいを持ち、生活できるような活気あるまちを目指していきたいと考えています。

■その他の質問

▷1%まちづくり事業と地域コミュニティの活性化について



子どもの金融経済教育について



弦音会 清水 梨花

議員 子どもの金融経済教育について、本市の取り組みや時代に合った学校での指導について、所見を伺います。

教育部長 学習指導要領に基づき指導するほか、現在の経済環境に合った教材の活用や関係機関との連携が重要だと考えています。

議員 子どもに正しい知識を伝えることで、社会とのつながりを正しく理解することができ、健全な金銭感覚を得られると考えますが、教育長に所見を伺います。

教育長 金融経済教育は社会の一員として生きるために欠かせない重要な教育分野であり、発達段階に応じて適切に扱えるように、現実的な金銭感覚や職業観を育てていくことが学校教育の大きな役割であると考えています。

議員 金融経済教育に関する授業をぜひ実施すべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 将来、経済的な自立を果たし、社会で積極的に活躍していくため

に必要な不可欠な教育であると認識しており、各学年に応じた内容で教育を実施しているところです。

議員 政治家や行政は市民にとって手本となる存在と考えますが、県内の入札妨害事件を踏まえ、子どもたちにどう示していくべきか、所見を伺います。

市長 政治家として、子どもたちにとって手本となるような存在であるべきだと考えていますので、しっかりと手本を示していきたいと思っています。

■その他の質問

▷高齢者の金銭・財産管理について

▷本市の道路交通指導について



中島知久平翁立像の移設について



志友会 高木 きよし

議員 中島知久平の生誕地である押切町地内への立像移設について、現在の状況を伺います。

教育部長 立像の移設については以前より議会でも質問がありましたが、令和7年1月に、改めて地元より押切町地内への移設の強い要望があったため、引き続き検討しているところです。

議員 大工業都市おおたの礎を築いた中島知久平を広く知ってもらうためにも、旧中島家住宅を活用して、さまざまな事業を行っていただきたいと考えますが、所見を伺います。

教育部長 文化財としての価値を理解してもらえるよう、イベントや展示会などを継続的に実施していきたいと考えています。

議員 現在、旧中島家住宅は国の重要文化財に指定されて整備事業が開始されており、知久平翁の生誕地である押切町への立像移設は好機と考えますが、市長の所見を伺います。

市長 地元の強い思いを感じていますので、所定の手続きを経たうえで進めていきたいと考えています。

議員 郷土の偉人を本市の文化的財産として活用することは大変重要なことと考えますが、所見を伺います。

市長 旧中島家住宅は現在、本格的な整備に向けて準備を進めています。整備終了後には、地元や多くの市民に活用してもらえるような事業を考えていきたいと思っています。

■その他の質問

▷太田西部幹線の南進の推進について



本市の教育の諸課題について —5歳児健診と発達障がい児者の 支援について—



志友会 大川 陽一

議員 5歳児健診について、県内他市の実施状況を伺います。

健康医療部長 県内では、高崎市と藤岡市、みどり市で実施しています。

議員 発達の支援が必要な児童を早期発見し、必要な支援につなげるため、5歳児健診は大変重要な施策と考えますが、所見を伺います。

健康医療部長 本市でも、発達障がいの早期発見、早期支援の重要な機会と捉え、令和8年度以降の実施に向けて太田市医師会と協議を行っています。

議員 今後、増加する可能性が高い自閉症・情緒障害特別支援学級の支援の充実に向け、教育長の所見を伺います。

教育長 児童生徒の特性を学校と情報共有して必要な人的支援ができるよう努め、研修により教職員の資質能力の向上を図っていききたいと考えています。また、入学前の引き継ぎなど、関係機関と連携して切れ目ない支援体制を構築していきたいと考えています。

議員 本市では5歳児健診の実施

を計画しており、きめ細やかなサービスの実現のためにも関係各部・各課の連携をしっかりと図ってみたいと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 児童生徒の特性に応じた適切な支援を行い、特に小学校入学前の年長児に望ましい就学先・学びの場となるよう関係課や関係機関とさらに連携強化していきたいと考えています。

■その他の質問

▷北の杜学園とコミュニティスクールについて

▷不登校児童生徒の現状と課題について

